中堅教諭等資質向上研修（高校・数学科）のテーマとレポート作成について

　講師　中村宗敬（山梨大学教育学部）

　今回の研修のテーマは

**具体的事物を活用した数学の授業**

といたします。これに沿ったＡ４紙２ページ（両面印刷で１枚）程度のレポートを作成して、それに基づいた発表を行ってください。

１．内容と目的

　上記のテーマを設定したのは、抽象的議論・計算になりがちな高校数学の内容を具体的事物で意味付けをして補い、生徒の興味・関心をひきつけることを目的とするということを念頭に置いております。上記のテーマに関して

　①　授業実践例の報告 　②　授業実践計画（これから行う予定のもの）

のいずれかを書いてください。なるべく①が望ましく、かつこれから研修までに新規に授業を行っていただくのが望ましいと思いますが、機会がとれない方は過去事例の①、または②の形でお願いします。「具体的事物」の意味は広く解釈していただいて自由に選択していただいてかまいません。

・情報機器・ソフトウェア、

・工作物、

・（数に対する）図形・グラフ、

・統計データ

等が考えられますが、各先生の特色の出た多様性のある意見交換の場にしたいと考えております。

２．作成要領

　以下の項目を簡潔に記入した、学習指導案（略案程度のもの）つきのレポートを作成してください。

レポートを１ページ目、指導案を２ページ目とすることを目安にしてください。指導案の形式は自由です。以下の点について、ご記入いただければよいと思います。

　　・単元の内容とそこで具体的事物を使う目的   
　　・授業の様子 、生徒の反応　　　　計画段階の場合は、ご自身が想定しているもの

　　・授業を終えて見えてきた効果・課題（授業実践を行った場合）

　　　予想される効果・課題（計画段階の場合）

　　・関連する数学的内容の教材、および具体的事物使用の進んだ研究

　　・その他、本研修に参考となるもの

３．発表

　レポートに基づいて、各自15分程度、可能ならばデモ等の実演込みでの発表をお願いします。 発表後に、参加者間で質疑応答・意見交換を行います。

４．その他

・作成したレポートを印刷して３部ご持参の上、当日参加の方への配布をお願いします。

・レポート・指導案のほかに研修の際に参考になる資料がありましたら、ご持参ください。

・パソコンを使ってプレゼンテーションを行う場合は、事前に中村までお知らせください。

　これも含めて研修日までのご質問等は下記までご連絡ください。

　　　400-8510　山梨大学教育学部　　中村宗敬   
 Tel. 055-220-8136 (研究室直通), E-mail: [munet@yamanashi.ac.jp](mailto:munet@yamanashi.ac.jp)

以上です。